

プラザちゅうたい それぞれの思い③

～スポーツを楽しむ人～

■ 家族の理解あつての卓球 林 誠司さん (西町)

「プラザちゅうたい」へは、完成した当初から通い続けています。今は週に1、2回ほど利用しており、時には息子と一緒に出かけられることもあります。息子が卓球を始めたのが12年前。今や大学生になった息子も腕が上がり、負かされることもありますが、今でも一緒に卓球を楽しんでいます。

「プラザちゅうたい」での一番の思い出は、2年ほど前に開催された「中濃ベテラン卓球大会」で決勝に出場したこと。準決勝で勝利したときは本当にうれしかったですね。

このように、大好きな卓球を40年以上も続けることができたのは、家族の理解があったからでしょうね。本当に感謝しています。

今後この「プラザちゅうたい」で、卓球仲間と、そして息子と一緒に卓球を楽しむ一方、大きな大会で優勝できるようにがんばっていきます。



■ 「プラザちゅうたい」は思い出いっぱいの場所です 細江 ひとみさん (加茂野町)



▲細江ひとみさん(左)と
夫の裕さん(右)

友達と気軽に楽しめるスポーツを探し、「ちゅうたいクラブ」のバドミントンに入ったのが10年くらい前の話。まったくの素人で始めたバドミントンでしたが、10年間続けた結果、今年の5月に開催された「市民バドミントン大会」では、ダブルスで念願の優勝を果たしました。

「プラザちゅうたい」で出会ったスポーツが10年も続けてこられたのは、仲間がいたからにはかなりませんが、バドミントンを一緒に楽しむことができる夫に出会ったことが一番の理由でしょうね(笑)。今でも夫と一緒に「ちゅうたい」でバドミントンを楽しんでいます。

私にとって「プラザちゅうたい」は、バドミントンというスポーツとの、そして運命の人との出会いの場所・・・そんな思い出いっぱいの空間です。

■ トレーニングは私の人生のすべて 坂元 清利さん (加茂野町)

私が「プラザちゅうたい」をよく利用するようになったのは高校生の時です。

当時、これだけの設備が整ったトレーニングジムが近辺になく、必然的に通うようになりました。

実は中学生のころから、中濃体育館のトレーニングジムにあげられていたのですが、対象が高校生以上だったために利用できませんでした。高校生になるまでの数年は、ほかの人がトレーニングしている様子を見学してきたものです。本当に高校生になるのが待ち遠しかったことを思い出します。

そんな強い思いがあったために、初めて中濃体育館でトレーニングをしたときは感激しました。以来トレーニングを続けています。

今ではほかのジムにも通うほどで、トレーニングが私の人生のすべてと言っても過言ではありません。

